

令和8年度「ねもと地域力」総会

令和8年5月10日(日) 10:00～

根本交流センター 大ホール

1 開会の辞

2 会長あいさつ

3 来賓紹介(市長あいさつ)

4 議長選出

5 議事

第1号議案 令和7年度事業報告及び (2～9頁)

令和8年度事業計画案

第2号議案 令和7年度決算報告・ (10頁)

令和8年度 予算案及び
会計監査報告

第3号議案 役員改選(案) (11頁)

(参考資料 会議年間予定表) (12頁)

(参考資料 会員名簿) (13～14頁)

6 新会長挨拶

7 来賓あいさつ

ねもと地域力



ホームページ検索「ねもと地域力」

<http://nemoto-tiikiriyoku.com/>

(活動情報などが掲載されています)

事務局への連絡は、メールで kaityou@nemoto-tiikiriyoku.com

会長メール



ねもと地域力 HP(回覧板)



第1号議案 令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画案

令和7年の事業結果について

活動費ひっ迫のなかでのスタートになりましたが、「多治見市地域力向上推進プロジェクトチーム」策定の市業務委託事業を受託することで活動資金の一部に充当することができました。

根本交流センター、根本校区青少年まちづくり市民会議とも連携し「ふれあいフェスティバル」をはじめ、地域の皆様との交流を拡げる活動をしてきました。

令和8年度事業計画（案）について

昨年度迄の事業計画を踏襲し、各グループの方針を尊重しつつ、従来の活動にとらわれない発想による活動を目指します。

特に昨年度から始まった「市政業務委託事業」を活用しての事業計画をも含む活動を継続して進めて行きたい。

行政・公共団体・大学・病院・地域団体等との連携による社会資源を活用した新たな取り組みを目指すことにより、「元気ある地域」に少しでも貢献出来ればと考えます。

また、高齢化と会員数の減少を補うべく新規会員の勧誘を目指します。

事業計画につきましては、各グループ長より発表いたします。

1 会議の開催

（令和7年度報告）

- (1) 総会および全体会議（総会5月、全体会議10月・1月）
- (2) 役員会 2回（6月・4月）
- (3) グループ長会議 4回（9月・12月・2月・4月）

（令和8年度計画）

- (1) 総会および全体会議（総会5月、全体会議10月・1月）
- (2) 役員会（6月・4月）
- (3) グループ長会議（不定期）
- (4) 企画委員会（不定期）
- (5) その他、必要に応じて適宜開催

2 総括事業の実施

ねもと地域力 フェスティバル

（令和7年度報告）

「第13回「ふれあいフェスティバル」に参加しました。

各グループは、小ホールに展示・体験会、及び「クイズラリー」も実施。

実施日：令和7年11月1日（土）～2日（日）

(令和8年度計画)

「ねもと地域力」をPRするため、内容を刷新して「新しいアイデア」を企画し校区住民が楽しめるように工夫したい。

10月31日(土)～11月1日(日)

3 グループ活動の実施状況

(1) 防災グループ (日本一防災意識の熱いまちづくり)

(令和7年度報告)

「日本一防災意識の熱いまちづくり」をスローガンとして月1回の打合せ会議を開催し、各班の活動計画策定、活動状況の確認と、情報の共有化をはかって来ました。

- ① 自らの命は自分で守る「家具転倒防止」に向けてのPR活動を、地域の防災訓練ふれあいフェスティバルで実施しました。
- ② 防災意識向上活動として、防災の花「ど根性ひまわり」を校区内に広く展開するため、ふれあいフェスティバル、サロン等に防災の花「ひまわり」の種を配布しました。
- ③ ふれあいフェスティバルに於いて、水を使わないトイレの体験会を実施しました。
- ④ 水を使わないトイレの体験会を根本校区外にも広げ、
2025年度では校区内321人校区外352人の体験者数実績となりました。
体験会活動開始の2018年8月から今年度末時点で校区内外合わせて延べ「3,769名」の体験実績となりました。
- ⑤ 災害時の避難所となる「根本小学校」の避難所運営マニュアルを作成中。

(令和8年度計画)

自分の命は自分で守る「我家の防災計画」の推進、および自宅周辺の危険個所を自身でチェック出来るマニュアルの作成

- ① 地域の防災訓練支援
- ② 水を使わないトイレ体験会の根本校区外へも推進
- ③ 「シェイクアウト(地震の防災訓練)」の周知
- ④ 新規人材の発掘
- ⑤ 根本小学校の避難所運営マニュアル作成の完成

(2) 地域交流グループ (誰とでも話ができる街づくり)

(令和7年度活動報告)

「誰とでも話ができる街づくり」の達成に向けて人と人の交わりの場所を提供する以下の活動をしております。

名 称	内 容	場 所	開 催 日	時 間
おしゃべりクラブ 写真を楽しむ会	写真撮影の勉強会	交流センター	毎月 第3火曜日	13:30～
おしゃべりクラブ 家庭菜園	育成技術の勉強	交流センター	毎月 第3月曜日	13:30～
おしゃべりクラブ 健康食	レシピ作成と実食	交流センター	毎月 第4金曜日	10:00～
おしゃべりクラブ 麻雀を楽しむ会	初心者から上級者まで参加	NSP東集会所	毎月 第3水曜日	13:30～
おしゃべりクラブ 夜のカラオケ	飲食は各自持参	NSP中央集会所	毎月 第3木曜日	18:00～
脳トレ&筋トレ体操	専門講師による指導	NSP中央集会所	毎月 第2金曜日	13:30～
将棋の広場	子供無料、 大人会費1000円	交流センター	毎月 毎週土曜日	9:00～
ドンマイクラブ	ボウリング 参加費実費	パークレーンズ	毎月第2・3 火曜日	10:00～
ハッピー喫茶	楽しい100円喫茶	NSP中央集会所	毎月 第1金曜日	13:30～
ポッチャを楽しむ	ポッチャをしながら雑談	NSP西集会所	毎月 毎週月曜日	10:00～
野菜市場	家庭菜園100円販売	NSP中央公園	毎月第2・4 日曜日	8:00～
お散歩ちょいぼら	ウォーキング	フリー	自 由	

現在、12のグループの活動（行事）を基本的には毎月1回開催している。

昨年度から再開した麻雀を楽しむ会、夜のカラオケは新規の参加者もあり順調に進んでいる。

11月1～2日に開催の「ふれあいフェスティバル」に参加したグループは①写真の会、②将棋の会、③ハッピー喫茶、④野菜市場の4グループ。

デジタル回覧板等に行事内容を掲載したことによる効果だと思いますが、数名の方が行事に新規に参加して頂いている。

（令和8年度計画）

- ① 現在の活動を維持し参加者の増加に努力する。
- ② 新しい活動行事を増やす様検討努力する。
- ③ 行事の開催回数の増加に努める。

(3) 認知症支援グループ (認知症に優しいまちづくり)

(令和7年度報告)

1. 認知症支援事業

(1) 地域の方々に「認知症」について正しく理解していただく「啓発活動」

・「認知症映画フォーラム」を今年度も継続開催

11月24日(月) 13:30~15:50

上映予定DVD:「お終活」(熟春!人生、百年時代の過ごし方)

・認知症に関する図書・DVDコーナーを根本交流センター1Fに設置

*11月4日 交流センターで整理券を配布し、30分で100名完売。

・実施結果:入場者104名+スタッフ20名、大変好評裏に終了した。

アンケート結果:別紙参照

(2) 行政・公的機関・大学・地域団体等社会資源を活用した、認知症予防活動

*予防教室・フォローアップとも年5回(2ヶ月に1回奇数月)の開催。

①「認知症予防教室」(今日から始める新脳活1・2・3)の継続開催3年目

第1回: 7月12日(土) 09:30~11:00 実施済

第2回: 9月27日(土) 同 実施済

第3回: 11月08日(土) 同 実施済

第4回: 1月10日(土) 同 実施済

第5回: 3月14日(土) 同 実施済(修了式)

予防教室・新規参加申込:19名

②「認知症予防 フォローアップ講座」の同時継続開催(11:00~12:00)

申込人数:第1期生23名 + 第2期生14名 = 37名

昨年度同様、認知症予防教室の終了後に開催。

③認知症予防教室講師:岐阜医療科学大学教授 葉袋先生が学術集会会長を

務める「第8回エンドオブライフ学会」(岐阜市民会館:9/13~9/14)

が開催され、その公開講座に参加すべく

☆公開講座参加日帰り旅行を企画募集 19名の講座受講者が参加。

(3) 地域支援活動としての「ねもとオレンジカフェ」の継続開催

年6回(2ヶ月に1回、偶数月)の開催。

*これまで、24回のカフェを開催し、地域に定着。

第19回: 4月26日(土) 参加者21名 *鼻笛の演奏

第20回: 6月28日(土) 参加者24名 *和琴の演奏

第21回: 8月27日(水) 参加者24名 *クラシックギター演奏

第22回: 10月22日(水) 参加者16名 *マンドリンギター演奏

第23回: 12月24日(水) 参加者17名 *クリスマスソング

第24回: 2月28日(土) 参加者21名 *マジックと腹話術

第25回: 4月22日(水) *未定

第26回: 6月27日(土) *未定

第27回: 8月26日(水) *未定

2. 健康づくり活動事業

生活習慣病予防につながる、健康づくり活動の企画実施

「健康づくり講演会」を含む年6回（2ヶ月に1回程度）の開催を計画
県病院や岐阜医療科学大学等外部の公共施設・大学から講師の派遣や飲料
メーカーの予防講座・健康講座・出前講座等を活用しての根本交流センター
との共催事業として実施。

①10月02日（木）岐阜医療科学大学 立木先生による

「睡眠の質向上、足裏から眠れるからだづくり」

参加者：41名+スタッフ10名

②12月19日（金）シニアエクサイサイズ体操・・・中止

③2月12日（木）県立多治見病院 木村先生による

「腰痛・ひざ・足の痛み予防と骨折しない体づくり」

参加者：38名+スタッフ5名

④3月19日（木）10:30~12:00 多治見市保健センター講師による

「食と健康 体に良い食生活のバランス」開催を計画中

参加者：17名+スタッフ3名

3. その他の活動

(1)「空き家の調査・報告事業」（多治見市）を本格的に取り組む。

根本町 13件、昭栄 2件、松坂町 33件、旭ヶ丘 31件、
計79件の空家調査を2回（9月と3月）実施。

調査担当者には地域の地理と事情の分かる地域力の地元メンバーに依頼。

(2) 誰しもいつかは直面する「終活（End of Life）セミナー」の実施

*1月15日（木）・22日（木）2日間のセミナー

会場：根本交流センター 小ホール

*申し込み人数 35名 1月15日：27名出席

1月22日：33名出席

・認知症への対応策（認知症になったらどうする？他） 1月15日AM

講師：南姫包括支援センター・ケアマネージャー 伊藤 みさき

・人生の最後を迎えるにあたり、何をするか？ 1月22日AM

講師：岐阜医療科学大学看護学部長兼教授 葉袋 淳子

・人生の最終章として、相続の問題を考える 1月22日AM

講師：戸田税理士事務所 戸田政雄

(令和8年度計画)

長年多治見市高齢福祉課の協力のもと「認知症高齢者支援事業」としての活動を令和7年度よりくらし人権課を窓口として活動を継続している。認知症支援事業以外の「市政委託事業」についても今後の活動事業として取り組むものとする。

1. 認知症支援事業

(1) 地域の方々に「認知症」について正しく理解していただく「啓発活動」

①認知症に関する「認知症映画フォーラム」の継続開催(11月予定)

上映予定DVD:お終活(再春!人生、ラブソデイ)*昨年の続編

②認知症に関する図書・DVDコーナーを根本交流センター1Fに設置

(2) 行政・公的機関・大学・地域団体等社会資源を活用の「認知症予防活動」

①「認知症予防教室」(今日から始める新脳活1・2・3)継続開催(年5回)

2ヶ月に1回、奇数月に開催。*7月11日(土)スタート

②「認知症予防フォローアップ講座」の継続開催。認知症予防教室の終了後に開催。(年3回のみ)

(3)「地域支援活動」としての『ねもとオレンジカフェ』の継続開催

2ヶ月に1回、偶数月に開催(年6回)

これまで、オレンジカフェを24回開催し、地域に定着。

第25回オレンジカフェ:4月22日(水)開催予定

第26回オレンジカフェ:6月27日(土)開催予定

2. 健康づくり活動事業

生活習慣病予防につながる、健康づくり活動の企画実施

「健康づくり講演会」を含む年6回(2ヶ月に1回程度)の開催を計画中
県病院や岐阜医療科学大学等外部の公共施設・大学から講師の派遣や飲料メーカーの予防講座・健康講座・多治見市の「出前講座」等を活用しての根本交流センターとの共催事業として実施を計画。

3. その他の活動事業

1) 認知症支援グループのメンバーでも取り組みが可能な事業として
「空き家の調査・報告事業」を継続して実施。

2)「終活セミナー(End of Life)」の継続開催

誰もいつかは直面し、実践せねばならない“終活”を後押しするセミナーの開催。

(4) デジタルねもとグループ (地域の先進的なデジタル社会をめざして)

(令和7年度報告)

① 地域力ホームページの作成・更新 (随時)

ア. 毎月のカレンダーをはじめ、地域のいろいろな情報をホームページに掲載しました。

イ. 令和7年7月から12月までの閲覧状況は、のべ1,074回のご利用があり、125人の方に繰り返しご覧いただきました。1回あたりの閲覧時間は、平均で約2分間でした。

これからも、見やすく親しみやすいホームページづくりを心がけ、多くの皆さまにご利用いただけるよう工夫してまいります。

② 各種情報の共有

ア. スマホ教室 (6月・全3回) を開催しました「今日からあなたもスマホ自慢」をテーマに、20名の方にご参加していただきました。

イ. ふれあいフェスティバル (11月) に参加し、ホームページのご紹介やスマホに関するご相談をお受けしました。

(令和8年度計画)

① 平成25年6月から続いている「ねもと地域力」のホームページを、これからも活用していきます。とくに、「デジタル回覧板」や「行事予定表」を充実させ、暮らしに役立つ情報を、見やすく分かりやすくお届けしていきます。

② 地域の皆さまにデジタルを身近に感じていただけるよう、スマホやインターネットなどに関する勉強会等を開催します。

③ 根本校区の皆さまが、無理なくデジタルに親しめるよう、今後の取り組みについて検討していきます。

④ 最近、AI (エーアイ) など新しい技術が広がっています。

こうしたデジタルのことを、少しでも身近に感じていただけるよう、わかりやすい情報のお知らせや、気軽に学べる機会づくりを進めていきたいと考えています

(5) 防犯グループ (日本一防犯意識の熱い街)

(令和7年度報告)

グループ員4人が退会したため、計画通りの活動ができませんでした。実施した活動として

① 振り込め詐欺防止活動をバロー根本店横のATM前で年金支給日に実施しました。

② 多治見警察署生活安全課と各種詐欺防止キャンペーン用のチラシの打合せをしました。

③ 特殊詐欺防止キャンペーンPRを「ふれあいフェスティバル」で実施しました。

(令和8年度計画)

昨年度と同様で少人数会員で活動を開始しなくてはならない事から
当面は今いる数名の会員で出来る範囲で活動することとします。

- ① 振り込め詐欺防止活動をバロー根本店横のATM前で実施。
- ② 多治見警察署生活安全課と各種詐欺防止用のチラシの件で打合せを行う。
- ③ 特殊詐欺防止キャンペーンを機会あるごとに実施。

(6) 自然・生活環境グループ (自然豊かな街づくり)

(令和7年度報告)

- ①ホタルの乱舞する街を目指して
カワニナの採取と根本川への放流 5月26日(月) 1,500匹放流
ホタル観賞会の開催 6月7日(土) 50名参加
- ②大原川右岸のヒガンバナ育成事業
ヒガンバナ球根掘り 6月30日(月) 5名参加
大原川沿いの草刈りと穴掘り 7月18日(金) 8名参加
ヒガンバナ球根植え(540ヶ) 7月25日(金) 5名参加
- ③他のグループと連携した活動
みんなで川遊び事業への参加 8月23日(土) 3名参加
(ねもとまちづくり主催行事)
根本小4年生の川体験会の手伝い 10月2日(木) 5名参加
(土岐川観察館主催行事)

自然・生活グループの主な活動は、上半期で概ね終了し、下半期は、カワニナ池の維持管理と彼岸花球根の育成を継続しています。

(令和8年度計画)

- ① ホタルの舞う町づくりとヒガンバナ育成活動を主体に地道に継続する。

ホタル観賞会の開催 交流センター周辺
開催日：令和8年6月6日(土) 19時45分 予定

ヒガンバナの球根掘り、大原川沿いの草刈りと球根植え
6月中旬から7月下旬

- ② 他のグループと連携した活動

グループ単独での新たな施策づくりは困難なため、ねもとまちづくり主催のみんなで川遊び等への積極的支援

第2号議案

令和7年度決算書・令和8年度予算書（案）

【収入の部】		令和7年4月1日～令和8年3月31日		予算	備 考	
項目	細目	令和7年度 予算書	令和7年度 決算書	令和8年度 予算書		
	前年度繰越金			641,381		
10	補助金	繰越額	389,177	391,177		
		22区	110,000	110,000	80,000	決算は前期不足3万含む
		31区	50,000	50,000	30,000	
		明和第2町内	10,000	10,000	10,000	
20	受託金	多治見市	330,000	394,000	400,000	4種類の新受託事業
31	雑収入	カフェ参加費	10,000	58,900	50,000	認知症活動の参加収入
32		トイレ体験謝礼	0	8,979		
40	預金利息		2	737	500	
合 計			899,179	1,023,793	1,211,881	

【支出の部】		細目	令和7年度 予算書	令和7年度 決算書	令和8年度 予算書	備 考
100	総括事業	ふれあいフェスタ	10,000	10,000	10,000	
111	グループ活動費	1.防災G	50,000	18,337	30,000	
112		2.地域交流G	20,000	3,820	20,000	
113		3.認知症支援G	200,000	246,566	200,000	映画12万円含む
114		4.デジタルねもとG	10,000	15,731	20,000	
115		5.防犯G	10,000	0	10,000	
116		6.自然・生活環境G	20,000	19,095	20,000	
117	受託事業	受託事業費		10,000	10,000	20受託金の活動経費
121	事務費	事務管理費	50,000	40,449	50,000	印刷代2万来期
122		広報費	15,000	15,774	15,000	HPLレンタルサーバー
123		雑費		2,640	3,000	搬送料
	設備投資	物置設置			200,000	現在1棟を2棟へ
	予備費		50,000	0	50,000	
	次年度繰越金	普通預金ほか	464,119	641,381	573,881	
合 計			899,119	1,023,793	1,211,881	

【財産残高】				
	未収入金		214,000	2受託金
	普通預金		427,381	
	合 計		641,381	

上記のとおり、収支状況を報告します。
令和8年4月3日
ねもと地域力

会長 高橋 重久
会計担当 戸田 政雄

上記収支状況について、出納帳、預金通帳、および証拠書類を照合した結果適正であることを確認しました。

令和8年4月3日
監査役 若尾 好一
監査役 成田 政勝

第3号議案	役員改選（案）
-------	---------

令和8年度 役員会名簿（案）			
役 職 名	区 分	氏 名	備 考
会 長	新任	古田 保廣	認知症支援支援 G 長兼任
副 会 長	留任	松森 東二	ふれあいねもと会長
運営委員	新任	水野 和明	第22区区長
運営委員	新任	中野 克義	第31区区長
運営委員	新任	倉地 和之	明和町第2町内会長
運営委員	留任	瀬瀬 正幸	まちづくり市民会議会長
運営委員	留任	西田 純孝	根本地域民生児童委員協議会会長
会 計	留任	戸田 政雄	
事務局長	留任	浅野 健	
1. 防災 G 長	留任	高橋 重久	
2. 地域交流 G 長	留任	山田 政壽	
3. 認知症支援 G 長	留任	古田 保廣	会長兼任
4. デジタルねもと G 長	留任	川上 一朗	
5. 防犯 G 長	新任	浅野 健	事務局長兼任
6. 自然・生活環境 G 長	留任	後藤 正明	
会計監査	新任	山田 博栄	第22区会計
会計監査	新任	田口 勝男	第31区会計

令和8年度 会議予定表				
	日 程	時 間	名 称	場 所
1	令和8年 4月10日(金)	17:00	グループ長会議	根本交流センター
2	令和8年 4月16日(木)	17:00	役員会	根本交流センター
3	令和8年 5月10日(日)	10:00	総会	根本交流センター
4	令和8年 6月11日(木)	17:00	役員会	根本交流センター
5	令和8年 9月27日(日)	13:30	全体会議	根本交流センター
6	令和8年10月31日(土)	10:00	フェスティバル	根本交流センター
7	令和8年11月 1日(日)	9:00	フェスティバル	根本交流センター
8	令和9年 1月17日(日)	13:30	全体会議	根本交流センター
9	令和9年 4月15日(木)	17:00	役員会	根本交流センター
10	令和9年 5月 9日(日)	13:30	総会	根本交流センター
※ グループ長会議・企画委員会は不定期的な開催とする。				
※ 各種会議は事前にメール連絡とします。				

メールアドレス（会長及び事務局への連絡）

kaityou@nemoto-tiikiryouku.com



会員の皆様で、この総会の案内メールが届かなかった方は、上記メールアドレスへ「ご自分の氏名」と「携帯電話番号」を記載してメール送信してください。
今後の連絡や情報伝達がスムーズに行われます。

2026年 ねもと地域力会員名簿

グループ名	氏名	所属名
1.防災G長	高橋 重久	防災グループ
	寺島 芳枝	防災グループ
	柴田 博安	防災グループ
	塚本 邦夫	防災グループ
	若尾 宏	防災グループ
	小村 朱美	防災グループ
	澤近 祥弘	防災グループ
	那須扶佐代	防災グループ
	浅野 健	防災グループ
	中野克義	防災グループ
2.地域交流G長	山田 政尋	地域交流グループ
	小林 梓	地域交流グループ
	大倉マル子	地域交流グループ
	棚橋 茂	地域交流グループ
	塚田 幸雄	地域交流グループ
	戸田 政雄	地域交流グループ
	船津 君代	地域交流グループ
	天野 愛子	地域交流グループ
3.認知症支援G長	古田 保廣	認知症支援グループ
	亀井 頼直	認知症支援グループ
	寺島 芳枝	認知症支援グループ
	澤近 祥弘	認知症支援グループ
	松本 知之	認知症支援グループ
	川本 侑子	認知症支援グループ
	徳田 広子	認知症支援グループ
	橋本 義昭	認知症支援グループ
	洞口 清隆	認知症支援グループ
	長谷川芳江	認知症支援グループ
	郡司洋子	認知症支援グループ
	野々村ちづ子	認知症支援グループ
	加納久美子	認知症支援グループ
	熊澤清次	認知症支援グループ
	粥川健児	認知症支援グループ
藤井和幸	認知症支援グループ	
4.ねもとデジタルG長	川上一朗	ねもとデジタル
	戸田 政雄	ねもとデジタル

5.防犯G長	浅野 健	防犯グループ
	永留 直昭	防犯グループ
	古田 保廣	防犯グループ
	高橋 重久	防犯グループ
	天野 愛子	防犯グループ
6.自然生活環境G長	後藤 正明	自然生活環境グループ
	松本 知之	自然生活環境グループ
	稲原 重晴	自然生活環境グループ
	額額 正幸	自然生活環境グループ
	日下部赴三子	自然生活環境グループ
	郡司 洋子	自然生活環境グループ
	若尾 忠男	自然生活環境グループ
	波多野 覚	自然生活環境グループ